

# 野岸小だより



小諸市立野岸小学校NO9  
令和2年11月30日 発行  
校長 丸山 穰

季節外れの暖かさのあとに、秋らしい日が戻ってきました。残り少ない「秋」を楽しみたいです。

## 校内音楽会 11/12(木)13(金)

新型コロナウイルス対策で、本年度の音楽会は、2回に分けて行いました。感染対策をしておこなった実施でしたが、生の音を全校で聴くことができ、発表する側、聴く側双方の成長につながりました。ひとつのことにクラスや学年で取り組む素晴らしさも感じてくれたようです。保護者向けの発表はいかがでしたでしょうか。懇談会の折などにお聞かせいただければありがたいです。



## 一日入学、来入児保護者会 11/17(火)

新型コロナの影響で、第1回目の来入児保護者会はできなかったのですが、今回は開催することができました。「1日入学楽しみ～」とニコニコしながら車から降りてくるお子さんもいて、やってよかったなと思いました。学校に来た来入児の子どもたちは、帰り道おうちの方と、どんなお話をしたのでしょうか。4月に向けてワクワクしながら、入学を心待ちにしてくれるといいなと思っています。



## 5学年収穫祭 11/20(金)

5年生は、今年のキャンプ・登山はできませんでした。そこで、お米の収穫祭に合わせて、飯ごう炊さんをしたり、肝試しをしたりすることを計画しました。天気はあまりよくなかったのですが、元気いっぱいご飯とカレーを作って、お世話になった方を招待して体育館で収穫祭を行いました。暗くなったら、北校舎を使って肝試しをしました。他の学年の先生たちは、お化けになって待ち構えました。その後、中庭で花火をして解散しました。キャンプでできなかった係活動も各自の持ち場で頑張ってくれました。6年生からバトンを受け取り、最高学年になっていく子どもたちの、頼もしさの一端を感じることができた行事でもありました。



## 発表の場でさらに伸びる子どもたち

音楽会では、発表の場を通して成長してくれた子どもたちでした。目標を持って発表に向かうことは、「がんばってよかった」体験にもつながり、いろんな場面での力となります。そういう意味では、今年度は、なかなか発表の場を作ることができませんでした。そんな中でも、少しずつですが、発表の場ができてきています。コミュニティーテレビでは、市内の音楽関係の課外活動取材して放送してくれています。野岸小学校でも、合唱部と管楽部取材して放送してくれました。管楽部は、11/8(日)に文化センターで、関係者限定ではありましたが「サンクスギビングコンサート」を開催し、11/21(土)には、「こもろっこ音楽発表会」にも参加して練習の成果を発表することができました。新型コロナの流行状況によっても変わってきますが、音楽会に続き、学習の成果を発表できる機会を作っていこうと考えています。

## 保護者懇談会のお願い 12/10～

今年度は、新型コロナウイルスの関係で、保護者の皆様にお子さんの授業の様子を見ていただく機会を設けることができていません。申し訳ありません。そろそろ大丈夫かなと思っていたらまた「第3波」の様相になってきてしまいました。そのような時期ではありますが、例年のように保護者懇談会を計画させていただきました。学校の様子を伝えたり、おうちの様子をうかがったりする中で、お子さんの成長をサポートできるようにしていきたいと思っております。お忙しい時期ではありますが、よろしくお願い致します。

## 読書旬間 11/16(月)～27日(金)

「読書の秋」です。学校でも秋の読書旬間を実施しました。一度に借りられる冊数を増やしたり、A・Bで制限していた使用日も、この期間だけは取り払って解放しました。お昼の放送では、先生や図書委員の人たちが、読み聞かせや本の紹介をしてくれました。また、給食の献立も、本の物語に出てくる料理を取り入れた献立にしてくれました。いろいろな方向から、読書の楽しさに触れてもらうようになっていました。それとは別に、本校には「図書館ボランティア」という制度があります。図書委員以外の人で、読書の楽しさを広める活動をしてくれる人たちを募集します。ボランティアになった子どもたちは、いろいろな活動を考えて実施します。しおりを作ってプレゼントしたり、ポスターを作ったり考えを出し合って工夫しています。活字離れが心配されていますが、読むことを通して、想像力や理解力が高まります。その力は、学習や生活の基礎力になっていきます。おうちの方々も、お子さんと一緒に本を読む時間をとってみてはいかがでしょうか。



## 焼き芋交流

11/18(水)に4年と3年、11/26(木)に6年と1年がそれぞれ焼き芋交流をしました。上の学年がリードして準備や計画をしました。焼いている時間は、それぞれが工夫して遊ぶ時間を作りました。どの学年の子どもたちもニコニコ顔でおいしそうに食べていました。このような交流では、上の学年は、頼られることで、自己肯定感や他者理解の力が育ちます。下の学年は、上の学年の姿を見て、「あんなふうになりたいな」という憧れの気持ちを持つことで、学習や学校生活に意欲的にかかわるようになります。校内でも校外でも異年齢の子どもたちとかかわることが少なくなっています。異年齢交流は、これから先、大人になって社会に出ても必要な大切な力を育てることができます。そんな意味でも、1～6年生までが一つ屋根の下で学ぶ小学校の意味があります。

